

<<中部東海、近畿の大地震の可能性>>

現在、大地震につながるようなデータは 【長野安曇野】【浜松市浜北 017】と【伊勢D484】【三重志摩】になりますが、ここへきて【伊勢E 481】に真っ赤な幅のあるデータが出てきました。さらに石川県能登地区の長期に渡る群発地震と、京都府南部、和歌山近辺の群発地震が続いています。これらの状況を総合的にみると、中部、東海地区（または近畿地区）には大地震の可能性が考えられます。

<<満月トリガー>>

昨日 6月 14日は月齢 15で満月で、ここ数日は大地震が発生しやすい、いわゆる“満月トリガー”の期間にかかりますので大地震の発生に注意が必要です。

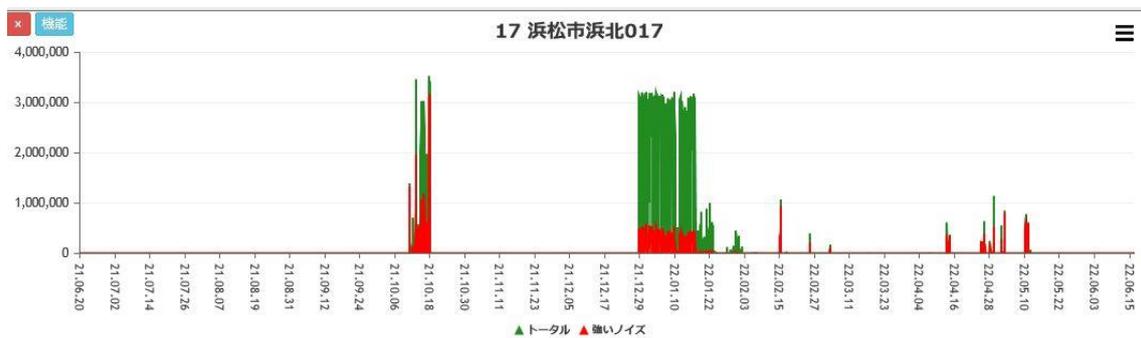
<<長野 焼岳の火山性地震の増加>>

先月 5月 24日ごろに長野 焼岳の、1日の火山性地震の回数が増加し、その後徐々に減少してきています。しかし【長野安曇野】からほど近く、地下の活性化を考えると大地震の前兆現象の1つとも思われます。以下に関連データを載せます。

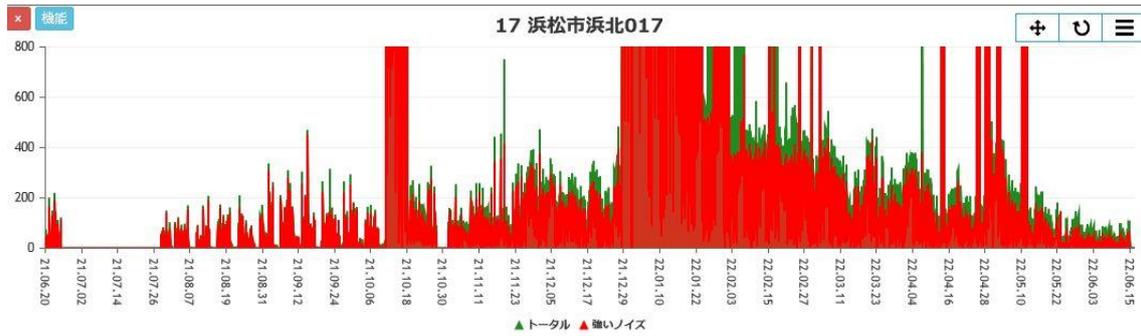
安曇野 360日間データ>長期データが収束してきている。



浜北 017 360日間データ>300万を超える大型データが出て減衰している。



浜北 017 360 日間データ (拡大) > 長期の減衰—収束傾向が見られる



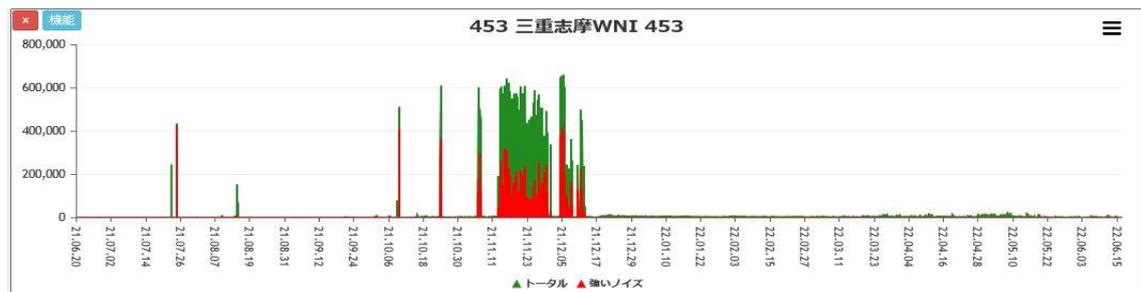
伊勢D484 360 日間データ > いったん減衰し、リバウンドの山が収束している



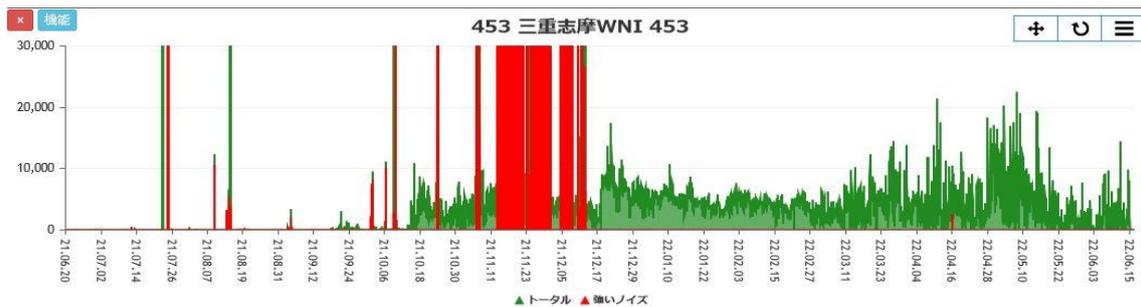
伊勢D484 60 日間データ > リバウンドの山が減衰—収束。



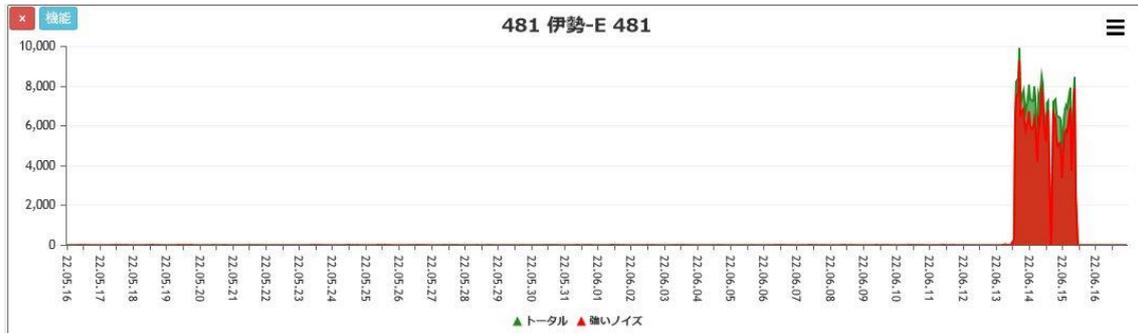
三重志摩 360 日間データ > 60 万を超えるデータが減衰している。



三重志摩 360 日間データ (拡大) > 長期のデータが減衰している。



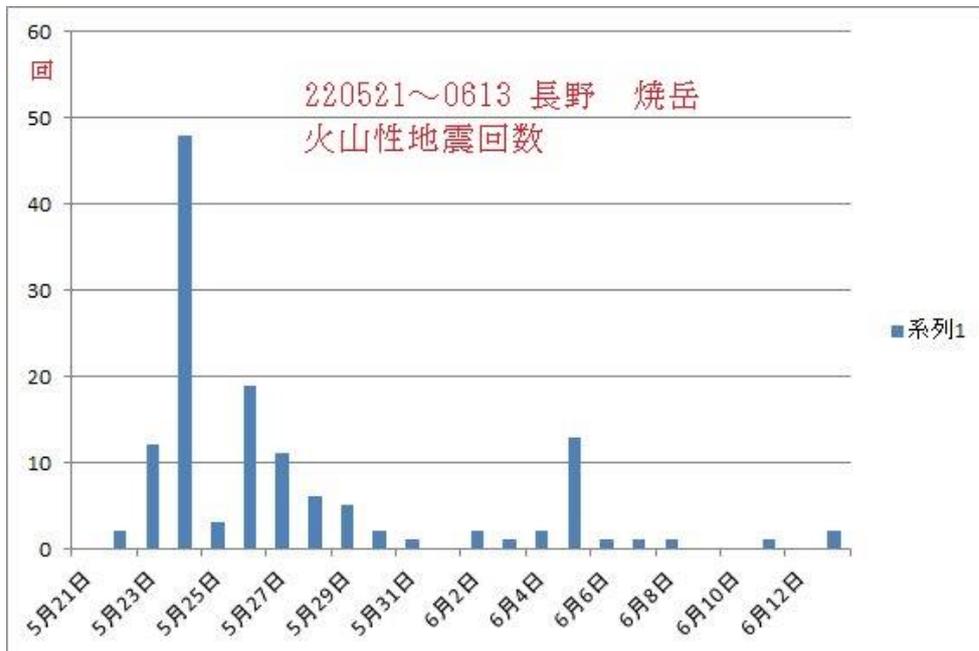
伊勢E 481 30日間データ > 真っ赤な幅のあるデータが出ている。



その他 > 長野 焼岳の火山性地震の増加



長野 焼岳の火山性地震の回数の変化



参考>位置関係

